

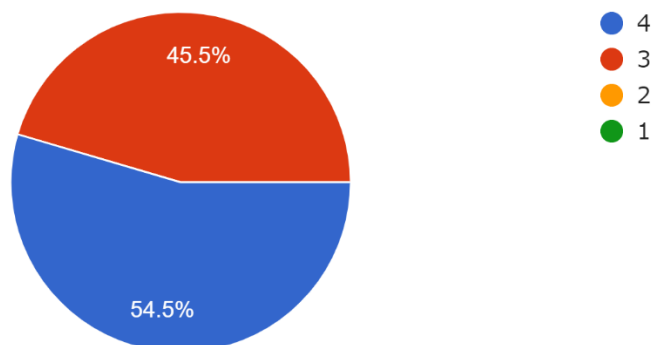
2020年度 作業療法学科 卒業時到達度確認アンケート集計結果

回答率 84.6% (対象学生数：26名、回答数：22名)

4：できる 3：まあまあできる 2：ほとんどできない 1：できない

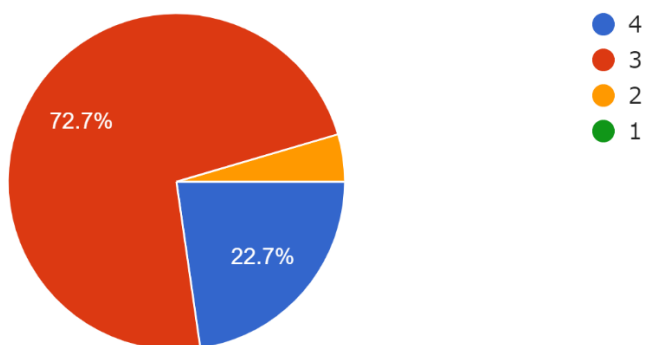
1. 対象者・家族・他職種と協調し、節度ある誠実な対応ができる。

22件の回答



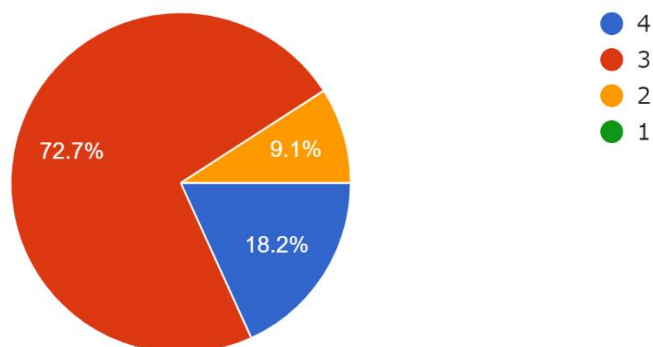
2. 対象者との心理的距離を保ってコミュニケーションがとれ、信頼関係を築くことができる。

22件の回答



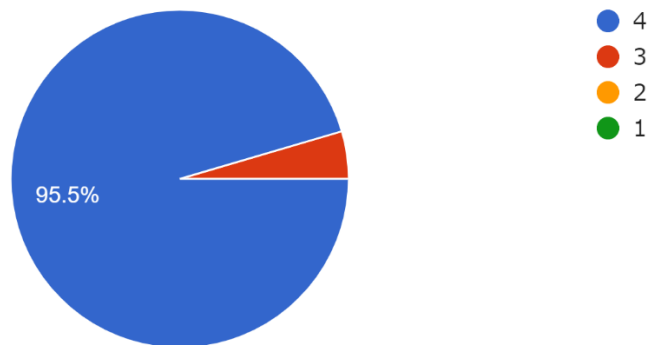
3. 作業療法に対する探究心、創造性をもつように努力することができる。

22件の回答



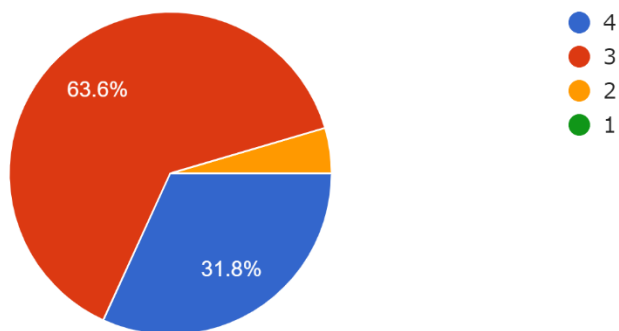
4. 対象者の個人情報保護に努め、作業療法士として守秘義務を守ることができる。

22 件の回答



5. 専門職として、報告・連絡・相談を行い、必要な援助を自発的に他に求めることができる。

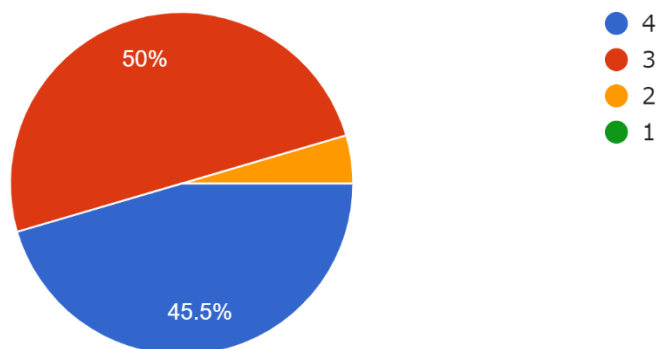
22 件の回答



6.

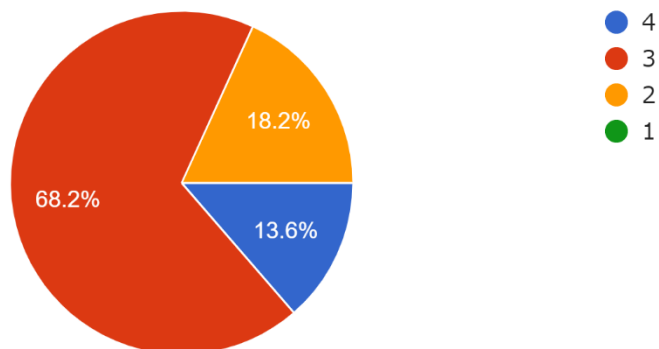
教員・実習指導者の意見を真摯に受け止め、今後自...職として学ぶべきことを認識することができる。

22 件の回答



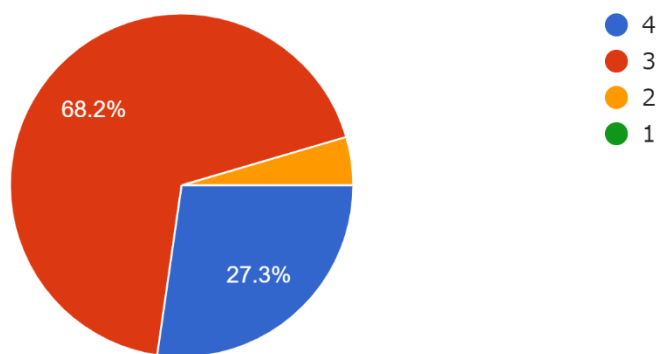
7. 対象者の理解に必要な情報収集を適切に行うことができる。

22件の回答



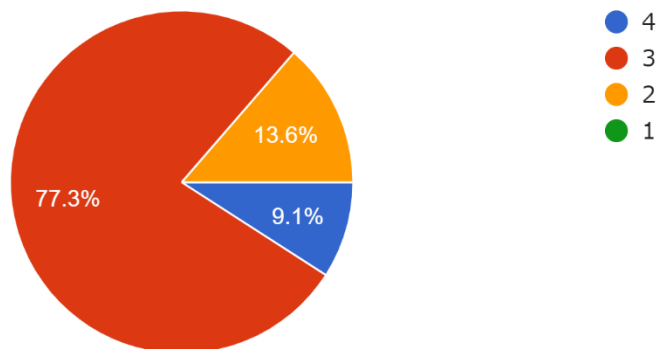
8. 対象者へのリスク管理に必要な情報を確認できる。

22件の回答



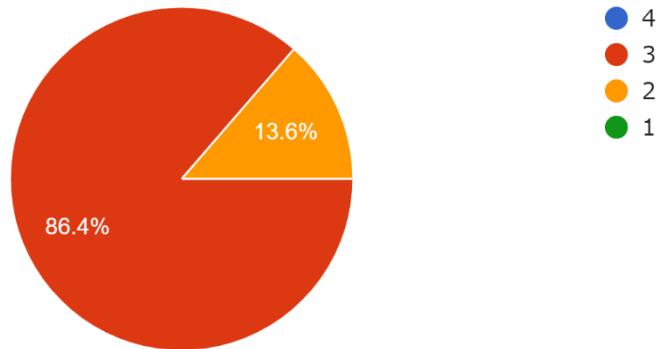
9. 対象者に即した評価計画(検査・測定などの選択を含む)を適切に立案できる。

22件の回答



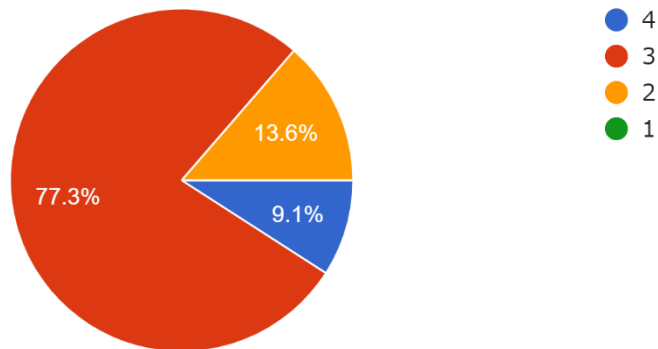
10. 対象者に即した評価計画立案を適切に記録・報告できる。

22件の回答



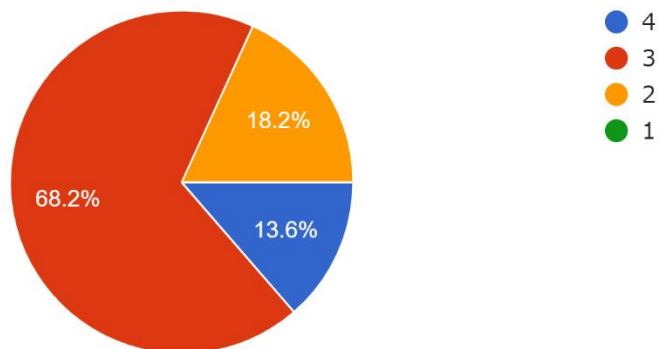
11. 評価の目的・手段を対象者や家族に説明できる。

22件の回答



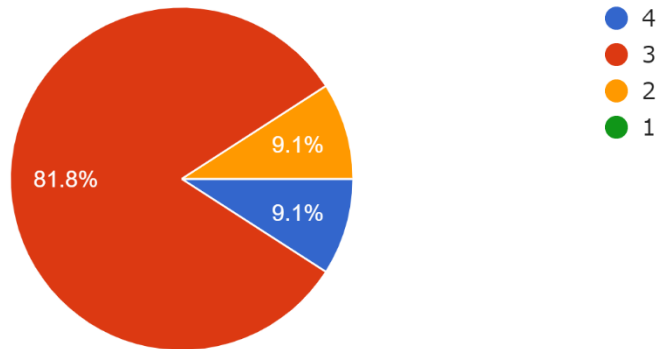
12. 対象者に必要な面接を適切に実施し、その結果を記録・報告できる。

22件の回答



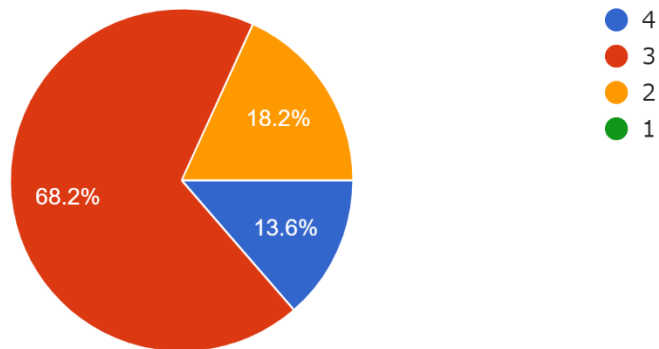
13. 対象者に必要な観察を適切に実施し、その結果を記録・報告できる。

22件の回答



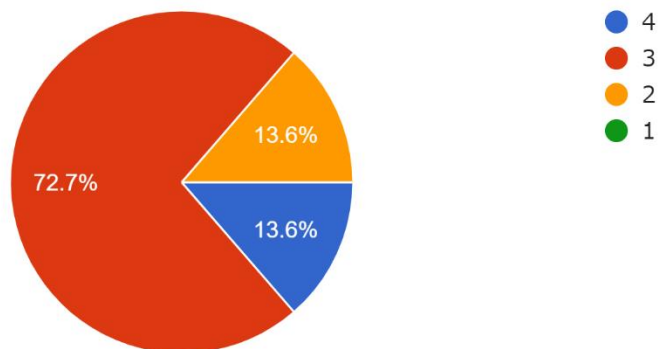
14. 対象者に必要な検査、測定などを適切に実施し、その結果を記録・報告できる。

22件の回答



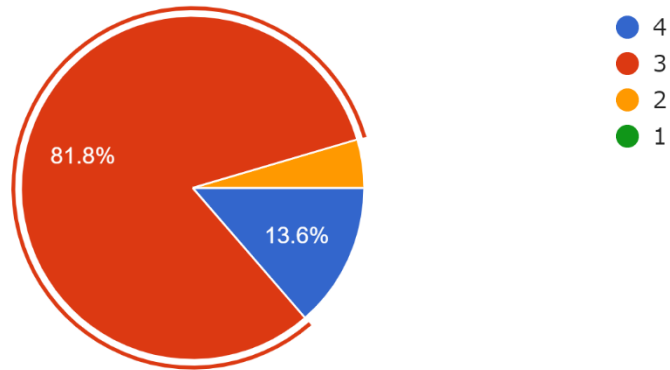
15. 評価結果をまとめ、適切に記録・報告できる。

22件の回答



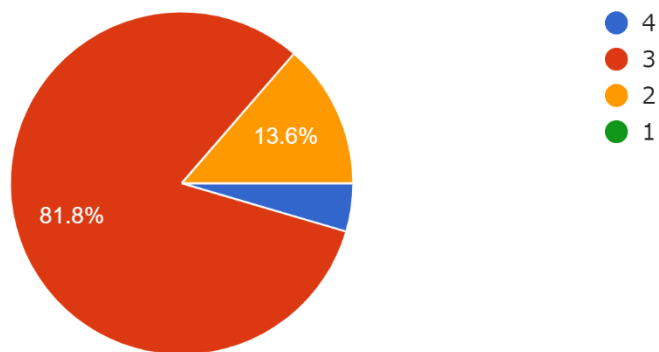
16. 評価結果から対象者の問題点を適切に挙げることができる。

22件の回答



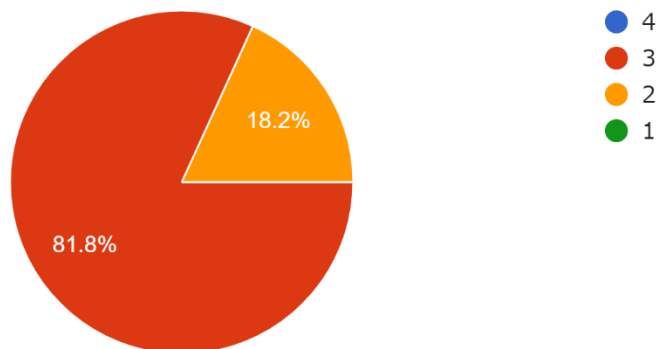
17. 対象者に即した長期・短期目標を適切に設定できる。

22件の回答



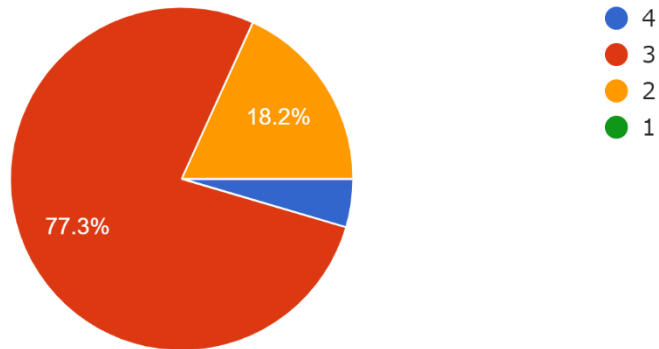
18. 対象者に即した作業療法の実施手順・手段を適切に設定できる。

22件の回答



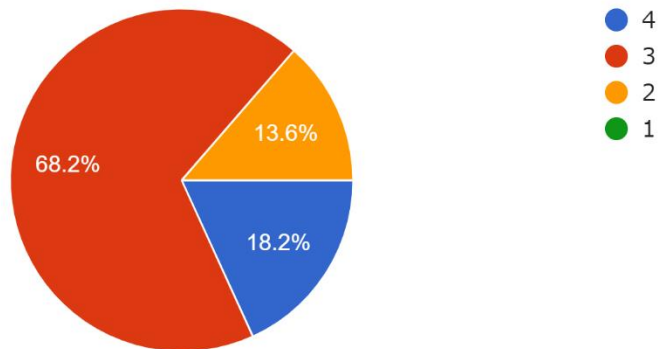
19. 対象者に即した作業療法の実施計画を適切に立案し記録・報告できる。

22件の回答



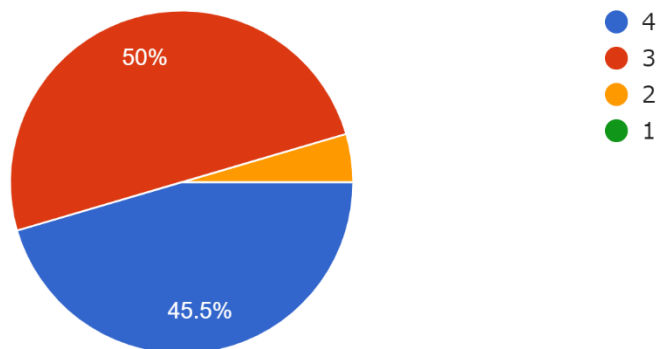
20. 作業療法実施の目的・手段を対象者や家族に説明できる。

22件の回答



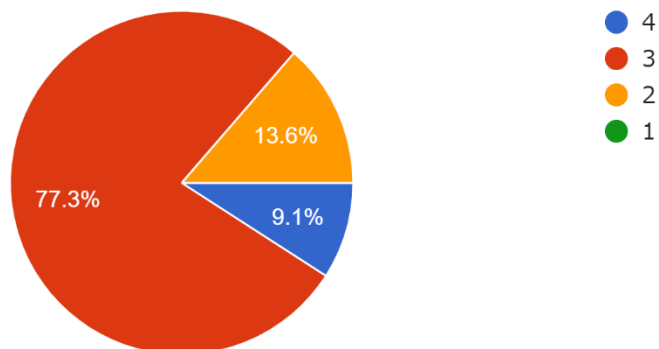
21. 対象者の安全性とリスク管理について配慮できる。

22件の回答



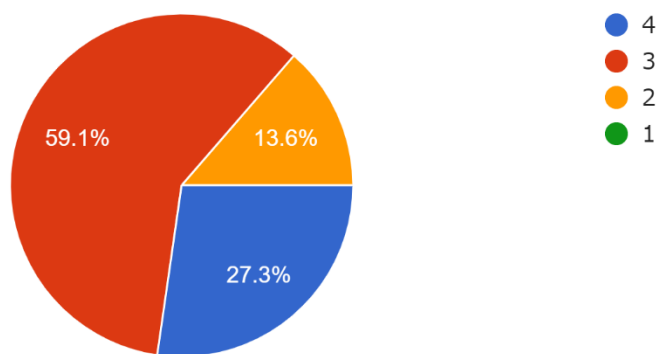
22. 修得した医学・専門知識を基に作業療法を实践できる。

22 件の回答



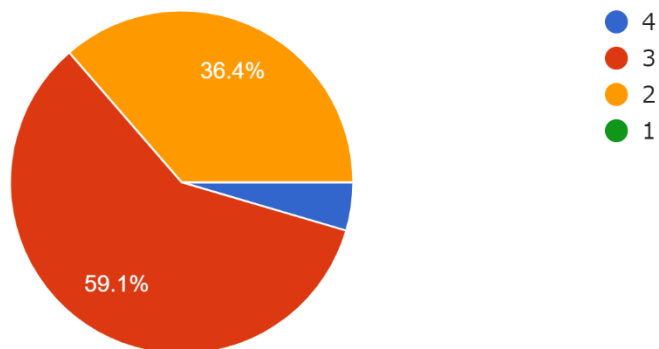
23. 他職種と連携し、対象者の退院・退所後の生活を見据えた作業療法を実施できる。

22 件の回答



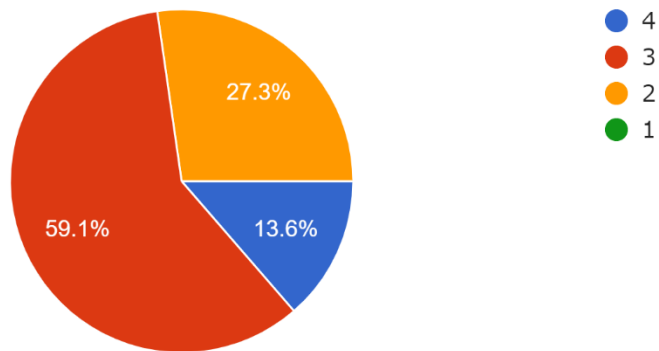
24. 対象者の経過(変化)を適切に把握し、再評価できる。

22 件の回答

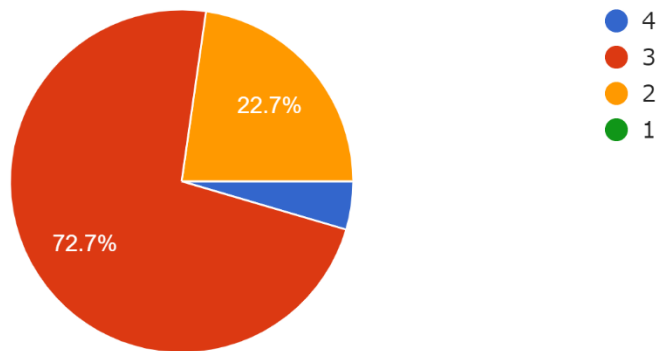


25.

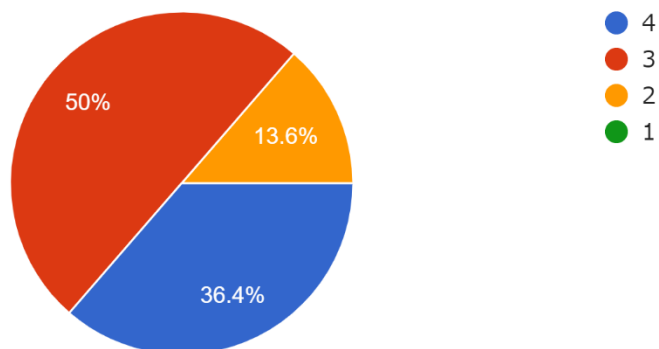
作業療法実施と再評価を通して、対象者の経過（変化）に応じた作業療法計画の修正ができる。
22件の回答



26. 実施した作業療法の内容を適切に記録し、家族及び他機関に必要な報告ができる
22件の回答

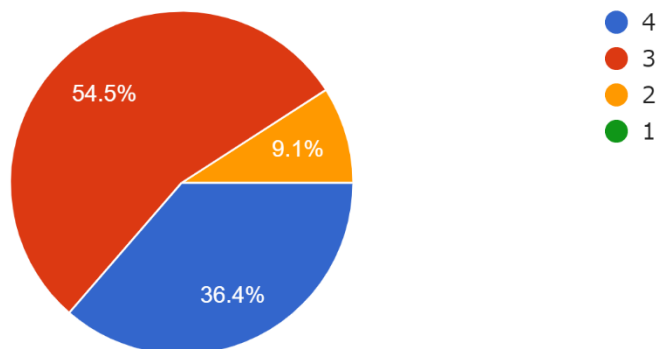


27. 文献や研究成果の情報を検索できる。
22件の回答



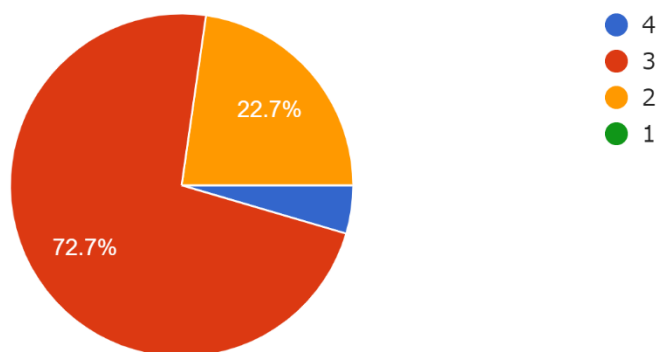
28. 作業療法士の専門性や価値について、自分なりの意見を述べることができる。

22件の回答



29. 社会資源を理解し、対象者に紹介や説明ができる。

22件の回答



30. 他職種・機関の業務内容を理解し、連携をとることができる。

22件の回答

